

海洋・港湾技術の早期実用化に向けた相互の連携協力の ための協定の締結について

平成 28 年 3 月 24 日、産官学の連携による海洋・港湾技術の早期実用化に向けた「海洋・港湾技術実用推進協議会」が設立されました。

協議会の取り組みを推進するため、6 月 13 日に内閣府政策統括官付※1 プログラムディレクター※2 と国土交通省関東地方整備局は、「海洋・港湾技術の早期実用推進」に向けた連携協力を円滑に行うための協定を締結しましたので、お知らせいたします。

今後、施設（京浜港ドック）の利用を通じた戦略的な海洋・港湾技術の推進や情報発信の相互支援及び共同実施等を行うことにより、我が国の海洋・港湾技術発展および振興に寄与していきます。

【連携協力協定書 調印式】

日時：平成 28 年 6 月 13 日（月）

場所：国土交通省関東地方整備局港湾空港部

調印者：

内閣府 政策統括官付プログラムディレクター 浦辺 徹郎

関東地方整備局 副局長 高田 昌行

立会者：

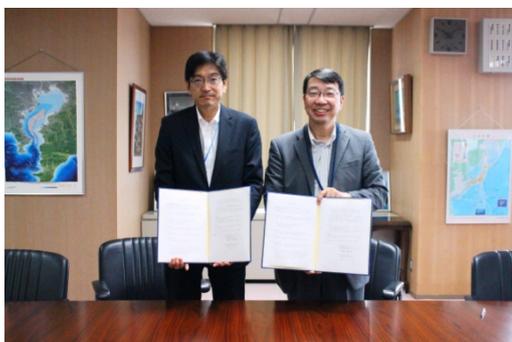
国立研究開発法人 海洋研究開発機構(JAMSTEC)

特任参事 堀田 平

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

港湾空港技術研究所 海洋インフラ技術推進センター長

下迫 健一郎



※1 科学技術・イノベーション担当

※2 戦略的イノベーション創造プログラム「次世代海洋資源調査技術」担当